

やまゆり保育園 2019年6月の歯科検診のご報告

全体的に口腔内清掃状態はとても良好な状態でした。虫歯も非常に少ないです。

虫歯の他に矯正医の視点から少々気になった点もチェックしております。現時点では矯正的にすぐ治療が必要なわけではございませんのでご安心ください。以下、気になったチェック項目を簡単にご説明いたします。

上唇小帯上位付着（じょうしんしょうたいじょういふちやく）



上唇小帯とは上の唇裏側の中央部にある「すじ」のことで、上唇を指でつまんで持ち上げるとわかります。この上唇小帯と呼ばれる「すじ」は歯のつけ根付近にあると**歯ブラシのときによく磨けず、虫歯になりやすいため注意**してください。上唇小帯は、年齢が大きくなると徐々に歯のつけ根付近から離れていく場合も多いので現時点で心配する必要はございません。しかし上の前歯が永久歯に生え替わっても歯と歯の間に小帯が付着していると「**上唇小帯付着異常**」と診断されます。その場合は歯並びや発音に悪影響が出たりしますので歯医者さんにご相談ください。

過蓋咬合（かがいこうごう）



過蓋咬合とは「**かみ合わせが深い**」状態のことです。噛み合わせると下の前歯が見えなくなってしまいます。下の歯で上の歯肉を噛んでしまったり、下のあごの動きが悪くなってしまったりしてしまいますので注意が必要です。現時点で治療がすぐ必要という事ではありません。永久歯の萌出とともにかみ合わせが浅くなる場合もありますので、心配はございません。しかし、**永久歯列になってもかみ合わせが深い場合は矯正医にご相談**ください。

反対咬合（はんたいこうごう）



反対咬合とは「**かみ合わせが上下逆**」の状態のことです。軽度の場合は永久歯に変わるときに治る場合もありますのですぐに治療が必要というわけではありません。反対咬合にも骨格性反対咬合と機能性反対咬合の2種類があります。この判断で治療時期、方法が異なりますので詳しくは矯正医にご相談ください。

癒合歯（ゆごうし）



癒合歯とは「**2本の歯がくっついてしまっている**」状態のことです。乳歯の前歯にはよく見られます。癒合歯の下から生えてくる永久歯は1本が多いため、乳歯で癒合歯があると永久歯が1本少なくなる場合があります。かみ合わせがずれる可能性がありますので**永久歯の交換時期になったら歯医者さんで歯の本数を確認**されるとよいでしょう。

捻転歯（ねんてんし）



捻転歯とは「**歯がねじれている**」状態のことです。ねじれて生えてくることにより咬み合わせがずれたり、歯が削れてしまったりする原因になります。特に前歯のねじれは歯冠破折の原因になったりもします。永久歯が完全に萌出していない今の時期ではすぐに治療する必要はありませんが、永久歯列になったら矯正医にご相談ください。